

看護婦派出
の求めに應ず
平南町
看護婦會
電話三〇七番

今年の寒さは
百年來の寒さ
ますます寒く
なります

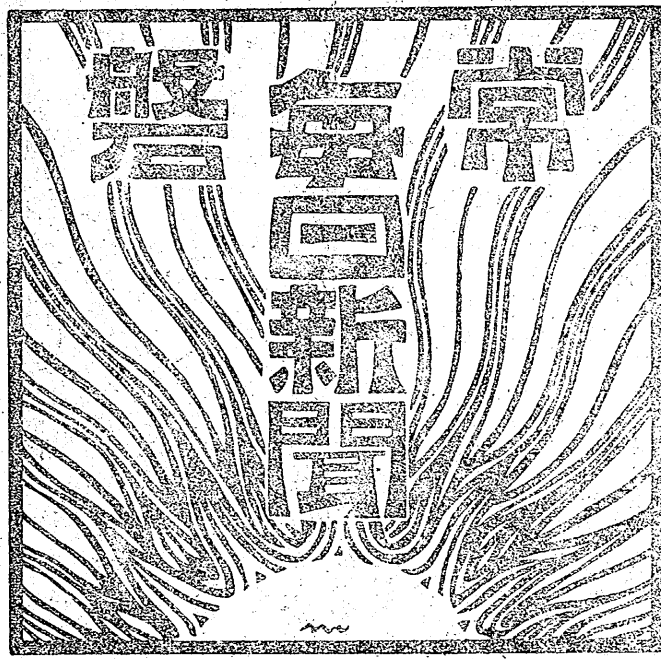
◎防寒具の御用意は?
オーバ 六、八〇〇ヨリ
トロンビ 一、〇〇〇ヨリ
モザリ 五、〇〇〇ヨリ
なかや洋服店
平貳(電二〇三)

紀念石、彫刻石
賣 炭 石
賣 材 石 岩
(強勉大もれ何)

喜多林之助
平町月見町

赤心堂
病院
平町田町
電話四七五番

透麻パン
京都産出五所販賣 有聲座隣
コーラス特約販賣



定部金貳錢 廣五號十三
一ヶ月廿錢 告字詰一行
紙税五厘 料五十錢 日刊
休日曜大祭 福島縣有城郡平町長橋町三五
發行所 常新新聞社 電話六三〇番

發行編輯人 川崎文治
本社下町番地(電話六三〇番)
印刷所 常新新聞社(電話六三〇番)

刊夕日一十月一

吳服類は總べて
の商標を御信用願ひます
安く良くは**龜**の標語です
必らず御満足して戴ける確信です
最近の當店へぜひお運びを願ひます
中野吳服店
平町三丁目(電話六七番)

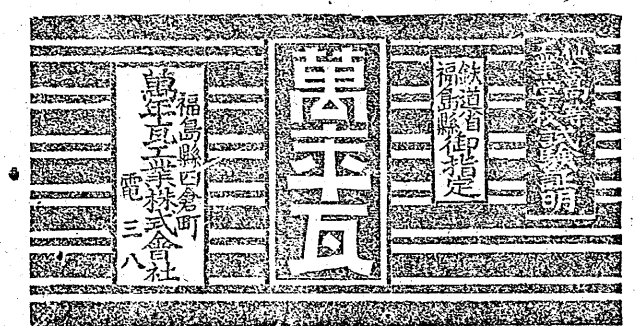
新年宴
大、小、に不拘特に勉強致し
ますから相變らず御用命を御
願申上ます
平 驛 前
電長二二二番
丸新館

モト
電氣機械器具各種材料販賣
電燈電力工事設計並ニ請負
製作ハ日立製作所
販賣ハ磐城工業商會
株式會社日立製作所特約店
東京電氣株式會社特約店
器應變とルト一モ
すまし致を理修の
目丁四町平線警常
番八一一話電
會商業工城磐
助治佐村中

吉田伴吉商店
機械之鐵骨組立
雷機ミターピンポン
吉伴鐵工所
平電話三二五番

銀なべ
御入浴も御隨意です御散歩
の折には是非從來同様御運び
御風味の程を御願ひいたします
牛豚
石川亭
平町田町電話四十三番

平町屋吉田眼科醫院
美味しい温かい
冬のふみもの
森永ミルクコ、ア六十多罐入 六十錢
紛末即席コーヒ中 罐入 四十錢
全 大罐入 六十錢
ヤトモツマ
番四一二電



うごん。そば
うなぎ。天井
親子丼五もく
まっか
平町長橋町



常盤毎日新聞
笑の研究(四)
原 精一

血液が順調に循環するか故
に健康であり健康であるが
故に愉快であり愉快を感じる
るが故によく働き福が来る
わけである、藝妓であるか
らと云ふて初めから美人で
はないのですけれども藝妓
を二三年すると云ふと見違
る程美人になるのは白粉を
附けて遊んで居るから美人
になる彼が美しくなると云
ふ唯一の原因は笑ふこと暇
さへあれば鏡に向つて目の
働かせ方を研究するとの二
つの原因に依るのでありま

す、如何により合理的に笑
ふかを考へるものは同時に
目の働かせ方に細心の注意
を考へねばなりません「目
も口程に物を言ひ」人の心
の善悪は目で判ると云ふ位
に目は機敏に働きます故に
最も目をよく働かせるもの
は口の働きを兼ねて居るも
同じであつて言はば普通の
人は一ツの口で笑つて居る
ものが目の働くものは二ツ
の口で笑つて居るもの同じ
です即ち藝妓は二つの口で
笑ふのです、たとひその様
に面白くない時でも努めて
笑ふのです御務の爲に笑つ
て居ても終にはほんとの笑
に變るものです、笑ふと

に依つて顔面の筋肉が著し
く發達します顔面の筋肉の
最もよく發達したものは天
性少しみにくい顔でも或る
程度までは美人になり得る
ものです藝妓は斯の如くに
して美人になるのです世の
美人たらんとするもの、も
しくは美男子たらんとする
ものは笑ふと云ふとに全力
を注がねばなりません笑ふ
に當つて必要なものは齒で
あります同時に笑はせる爲に
必要なものも齒であります
笑ふと云ふとは同時に彼を
して笑はせる動機を與へま
す (つづく)

平水道委員の意見は飽迄強コウ

硬軟兩派に分れた等とは 誤つたうそ萬八

八日午後七時から開かれた大瀧發電所問題に關する平町水道委員會の内容は是れが秘密會であつたの故を以て

本紙は 其報導を遠慮したのであつたが某紙の傳ふる所に依ると水野郡長が提出した仲裁案に對し一任せんとする軟派と是れを拒否して行政訴訟に依つて決せんとする硬派との二派に議論が分れ流會に終つたとの事であるが夫れは全然**事實に** 反して居るから本紙は茲に誤解を憚れて事の真相を報導せねばならぬ。郡長の仲裁案と云ふ事は夫れ程具體的に纏つたものではなく委員達の意嚮を訊さん爲め郡長が腹案を示して妥協點を求めやうと

不正會社の撲滅を期して平署の活動

先づ以つて怪しいのを召換

其被害は莫大

最近財界の不況を奇貨とし中産階級以下の商工業者其他に對し低利資金の貸付一般金融の低利立替を名として零細な資金を掻き集めて**組織し** たり又は堂々何々株式會社何々合資會社などの名稱を附し一面僅の報酬を餌に貧乏華族や相當の地位にあつた大官軍人等の名で地方人の無智に乗じ幾多の經濟的打撃を蒙らせてゐる者が少いので**政府で** は今夏以來これ等不正泡沫會社の一掃

各種の方面から

平町を覗く……(その五)

狹斜の巷からながめて(承前) 〇……お客の内でも用談等があつて一所に飯を食へながら胸襟を開いて夫れを果さうとする向も大分多くなつて來たが夫等の客は例へば三四人で來たとしても終始ひそやかなもので先づ大きな聲で唄を歌ふと云ふ様な事がない

〇……だから料理店としては座敷の模様で本當に遊興が目的で來た客が夫れとも用務を便する爲めに會談の場所を料理店に求めた客であるか又は所謂シンネコかは一見して是れを知る事が出来るが昨今不景氣の度が深刻になつた關係か眞の遊びが目的で來る様な客は減つた傾向でよい意味に於て(必要上からか?)料理

に努めて來たが最近石城地方にもこれ等不正金融業者が出没してゐるので平署では過般來夫々調査中であつたが八日午後六時平町南町吉田某を引致嚴重取調中であるが

誤つて發砲し 同僚の腹部に命中

血に染つて悶死

獵銃の手入れ中よ此奇禍

石城郡内郷村大字宮警城炭礦坑夫渡邊幸之助(三)同堀内正(三)の兩名は同僚の藤井道雄が狩獵の免許者にて獵銃を所持して居る所から同人を誘へ藤井の獵銃を擔いて昨十日午前十時頃同炭礦堅坑裏山に狩獵に出掛け同十一時頃晝食を食へんと厩上にて少憩中堀内は銃器の手入れを始めたが實彈がこめてあつた爲め突然發砲し渡邊の腹部に命中即死せしめたので本日村警署長は現場に急行取調中である

土曜日に犯罪が多い

殊に少年犯が激増

世間が世智辛くなつて來ると酒飲みもいふ機嫌になつて酔ひつゞけてゐては**生きて** 行かれないと見へて近來比較的酔ひばらぬのが少なくなつて來た平町の各料理屋などでも土曜日は最も客が多く月曜日が最も少いやはり土曜日は翌日が日曜である



家庭の庭欄

針の錆を防ぐ法 白粉の空櫃の中へ齒磨粉を入れ、この中へ針を藏つて置きますれば一年でも二年でも錆びずそのまゝ光つて

新聞雜誌よ 親しむ坑夫

平署が神經を尖らして警戒

石城郡内各炭礦數萬の勞働者は普選の實施、無産政黨の出現などの新時代の思潮に刺激されて従來の亂暴、無節制な、いはゆる坑夫氣質を一掃して勤勉實直な筋肉勞働者として働いて居る闘争を事とし酒色に耽り他を顧みなくなつた往年の面影は聞かなくなつたが昨年の新聞雜誌を手にして修養を志してゐるといふ状態であるが一面には勞働者の出入りもあり左傾的思想の宣傳が行はるゝやうなことがあつては容易でないので所管平署では警戒を怠らない

稲田の 跡作が殖(た) 喜ばしい現象

石城郡下の稲田二毛作栽培に關しては従來郡に於て極力獎勵して來た結果昨秋の收穫後その跡作反別は總反別約四百町歩にして大正十年には二百九十町歩に過ぎなかつた斯く**増加した** ことは稲田利用上大いに喜ばしい現象であるが後作物中の大部分は紫雲英で次は麥であるが年々減退の傾向ありて大正十年は三十町歩あつたが今年には僅かに十五町歩に過ぎない状態では麥に次ぐ

重要作物 なるにも 拘らず經濟上不引合の關係

上餘儀ないことではあるが麥に代つて蔬菜類の作附が近年俄に増加し殊に大浦夏井方面においてはその傾向著るしく大正十年は僅かに**十六町歩** に過ぎないものが今年には四十三町歩に激増してゐる要するに稲田の後作實行狀況は郡の豫

募集

文藝其他投稿を募集します

定計畫に比し百町歩の増加であつて本郡農業經營法改善の上より見て今後ますます増加の傾向を示しつつある